

幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会 第1回幌別東小学校区検討部会 議事録

日時 令和4年7月1日（金）18時00分～19時30分

会場 鉄南ふれあいセンターホール（3F）

出席者 （委員）

齊藤委員、赤坂委員、原委員、徳光委員、山田委員、鳴海委員、森委員、
竹中委員

（事務局）

堀井部長、中島参与、館下次長、近間総務 G 総括主幹、南雲総務 G 建築主幹、
西川原学校教育 G 総括主幹、中井学校教育 G 学務主幹、蓬田総務 G 主査

○事務局 これより、幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会の第1回幌別東小学校区検討部会を開催いたします。

本来は部会長が議事進行を行うところではありますが、部会の運営について説明するまでの間は、事務局で進行を行わせていただきます。

議事に入る前に、一回目の会議になりますので、本日本集まりの皆さんをご紹介させていただきたいと思います。事務局から順番にお名前をご紹介させていただきますのでその場で一礼いただければと思います。

（部会員を順次紹介）

○事務局 それではさっそくお配りした会議次第に基づき議事を進めさせていただきます。

会議次第2は「部会の運営について」です。去る5月20日に第1回学校統合委員会を開催いたしまして、その委員会において、委員会の下に2つの部会を設け、この部会において具体的な協議を進めていくことを決定いたしました。

2つの部会のうち、今日お集まりいただきました幌別東小学校区検討部会においては、東小学校区からの通学路や登下校時の踏切対策など、現東小学校児童に関係する事柄について検討していくこととなります。このため、メンバーにつきましても、この東小学校区検討部会につきましても、東小学校関係者の皆様に構成しております。

また、部会には部会長1名と副部会長複数名を置き、会議は部会長の議事によって進めることとなります。部会長と副部会長につきましても、学校統合委員会の山田会長、竹中副会長と相談いたしまして、先ほどご紹介いたしました竹中さんに部会長をお願いすることとしております。また副部会長につきましても、東小学校PTA会長の齊藤さん、東小学校学校運営協議会の山田さんと鳴海さん、鉄南地区連合町内会の森さんにお引き受けいただくことになりました。また、部会長と副部会長の皆様には親委員会である学校統合委員会の方にもご参加いただくこととなります。

部会につきましても、本日以降、概ね1カ月に1回のペースで会議を開催しまして、各テーマについて検討を行っていくこととなります。議論の進め方といたしましては、各テーマに関しまして、まずは事務局から案を提示いたしまして、これについて部会員の皆さんから意見をいただく形で進めていきたいと思っております。

それではさっそく協議事項に入りたいと思います。これ以降は、さきほど申しましたように竹中部会長に議事をお願いしたいと思います。

竹中部会長、お願いいたします。

○部会長

それでは会議次第に基づいて進めさせていただきます。会議次第3は協議事項です。はじめに、協議事項(1)「幌別東小学校区からの通学路について」、教育委員会の考え方も含め、事務局で資料を用意しているということですので、これに関し説明をお願いいたします。

○事務局

(事務局より資料に基づき説明)

○部 会 長

現幌別東小学校区からの通学路について、教育委員会の考え方も含め、説明がありました。考え方としては、踏切の横断箇所を鉄南ふれあいセンター付近の踏切と JR 幌別駅の自由通路に限定して、踏切には交通安全指導員を配置するというものです。これによって、登下校時の踏切横断による危険を回避する内容となっております。踏切への対応に関しては、後ほど個別にテーマといたしますので、まずは幌別東小学校区からの通学路に関し、質問やご意見などはありませんでしょうか？

○委 員

踏切としては、鉄南ふれあいセンターのところだけということですね。小原製麺所付近の踏切は、通学路としては利用しないということですね。幌別町7丁目、8丁目に住んでいる子どもたちにとっては、小原製麺所付近の踏切を使うのが自然な経路となるので、果たしてこの案に賛同を得られるか。

○委 員

横断箇所を1カ所にしたい気持ちは分かります。子どもたちがまとまって登下校できますし、交通安全指導員の配置も1カ所に限定できるので、その趣旨は理解できます。ただ、例えば中学生の兄弟が居て、一緒に登下校させる場合も想定されますし、家庭ごとに事情は様々だと思います。加えて、やはり幌別町7丁目、8丁目に住んでいる人たちの中には、小原製麺所付近の踏切を渡らせた親も出てくると思います。また、現幌別小学校区の子どもたちと仲良くなって、千歳団地や千歳町方面に住んでいる子と一緒に登下校するケースも出てくるかと思いますが、小原製麺所付近の踏切を使わせないということになれば、一緒に登下校できないことになってしまいます。

○委 員

西部についてですが、JR 幌別駅を通るのと鉄南ふれあいセンター付近の踏切を通るのとでは、距離はそれほど変わらないのではないのでしょうか。であれば、西部の踏切横断箇所は、鉄南ふれあいセンター付近の踏切一カ所にしてはどうでしょうか。また、JR 幌別駅を通る場合、駅を超えた後、郵便局前の交差点が車の通行量も多く、危ないように思えますので、そうしたことを考えても、西部の踏切横断箇所は、鉄南ふれあいセンター付近踏切の一カ所にした方がよ

いと思います。

○部会長 委員からもあったとおり、安全性を考えると、踏切の横断箇所は1カ所または2カ所に限定するのが妥当だと思います。小原製麺所付近の踏切を利用してはどうかという意見もありましたが、交通安全指導員を配置して、安全性を担保することなどを考えれば、横断箇所を増やすのはどうかとも思いますが。

○委員 私もさきほどの委員の意見に賛成です。JR 幌別駅はたくさんの方が集まりますので、安全性の面で賛成できない部分があります。もう一点、踏切を1カ所に限定するかどうかということについては、さきほど委員からもあったとおり、現幌別小学校区の子どもたちと一緒に登下校できないケースが出てきてしまいますので、小原製麺所付近の踏切も登下校に利用させるべきと思います。

○委員 さきほどから話題になっているとおり、西部の通学路案には、線路の横断箇所として、JR 幌別駅の自由通路と鉄南ふれあいセンター付近の踏切が示されているわけですが、これはどちらを通ってもいいという意味ですか。それとも、地区によって利用箇所を限定するという意味でしょうか。

○事務局 どちらを通ってもいいという意味です。さきほどもご指摘があったとおり、距離的にはどちらを通っても変わらないと思いますので、保護者の考え方により、いずれかを選択するという意味です。

○委員 選択ということであれば、このままでいいのではないのでしょうか。

○委員 私も、安全性の面から、JR 幌別駅の自由通路を利用させることには反対です。さきほど委員からもあったように、例えば中学生の兄弟が居て、一緒に登下校させる場合も想定されますので、横断箇所を鉄南ふれあいセンター付近の踏切に限定するのは反対です。保護者の皆さんに聞いたら、同じような意見が出ると思います。JR 幌別駅の自由通路は利用せず、踏切2カ所を利用するとい

う形でお願いしたいと思います。

○部会長 委員からは、鉄南ふれあいセンター付近と小原製麺所付近、2カ所の踏切を利用すべきとの意見がありましたが、教育委員会の案では、小原製麺所付近の踏切を利用せず、鉄南ふれあいセンター付近の踏切と JR 幌別駅自由通路を利用することになっておりまして、この2カ所を選んだのには何らかの理由があるものと思われるのですが。

○事務局 去年の地区別検討委員会の中で、線路横断の箇所は限定した方がいいという意見がありましたので、それを踏まえて、線路横断箇所2カ所に限定する形で案を提示いたしました。また、JR 幌別駅の自由通路についても、昨年度の地区別検討委員会の中で、踏切を横断することへの懸念から、JR 幌別駅の自由通路を利用してはどうかとの意見がありましたので、これも踏まえて、検討を進めてきたところでした。ただ、今日お示ししたのはあくまで教育委員会の案ですので、別の意見があれば、今日の議論を踏まえて教育委員会で検討を行いたいと思っています。

○委員 ちなみに小原製麺所付近の踏切を使用した場合、踏切横断後はどのような経路で幌別小学校まで行くことになりますか？

○事務局 おそらく、小原製麺所付近の踏切を横断した場合には、そのまま直進し、工学院の学生寮の所で左折することになると思います。

○委員 小原製麺所付近の踏切を横断した場合には、千歳団地前の経路を進むのが最も近いのではないのでしょうか。

○事務局 千歳団地の前の道路は、途中までしか歩道が無かったように記憶していますが。

○委 員 そうでしたか。そうであれば、工学院の学生寮を通る経路でいいかと思えます。

○事務局 そうなりますと、仮に小原製麺所付近の踏切を利用するとすれば、横断後はそのまま直進し、工学院の学生寮を左折して直進、その後は刈田神社前で左折し、幌別小学校正門前の道路に出る形になろうかと思えます。

○委 員 JR 幌別駅自由通路は階段部分の傾斜も大きい部分がありますし、不特定多数の人間が居ることを考えれば、保護者としては不安な部分があるかと思えます。

○事務局 これまでの議論をまとめますが、当初の教育委員会からの提案としては、線路の横断箇所として、JR 幌別駅自由通路と鉄南ふれあいセンター付近の踏切を利用する案をお示ししましたが、部会員の皆さんからは、JR 幌別駅自由通路は安全面で問題があるため利用せず、代わりに小原製麺所付近の踏切を利用すべきとの意見をいただきました。部会の要望としては、JR 幌別駅自由通路は利用せず、線路の横断箇所として、鉄南ふれあいセンター付近の踏切と小原製麺所付近の踏切を利用するという内容でよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

○事務局 部会の要望を踏まえまして、教育委員会において、現幌別東小学校区からの通学路に関し再検討させていただき、次回の会議で、その結果も含めてあらためて通学路案をお示ししたいと思います。

○部 会 長 通学路に関しては、以上で終了します。

○委 員 通学路の経路の話ではないのですが、現幌別東小学校区から幌別小学校まで通学となると、比較的長い距離を歩くこととなります。その間に体調が悪くな

ったり、不審者に遭遇したりした場合に、助けを求める場所が必要になると思います。登別市ではスタディちゃんの家という事業を行っておりますので、東小学校区の子どもたちには、このスタディちゃんを家の場所をしっかりと周知し、これに協力して下さる方々にはあらためてその趣旨を徹底していただきたいと思ひます。近々登別地区において、スタディちゃんを家の駆け込み訓練があるようですが、これは登別地区や東小学校区だけのことではなく、全市の取り組みべきものであると思ひます。まずは、統合によって通学距離が長くなる東小学校区で重点的に取り組んでいただきたいと思ひます。

○中島参与 委員がおっしゃるとおり、緊急時の駆け込み場所はこの地区だけの問題ではありません。スタディちゃんの家は市内全域に分布しておりますが、できることから取り組みたいと思っております。来週金曜日、月1回の定例校長会がありますので、その場で早速スタディちゃんの家に関しお知らせし、子どもたちへの周知、指導を行うようお願いしたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。

○委員 登校時は7時40分以降に踏切を横断することになると思ひますが、鉄南ふれあいセンター付近の踏切については、月に何度か、8時前後の時間帯に長時間遮断が続くことがあります。夕方の時間帯もそのようなことがあるように思ひます。そのあたりの状況はJR北海道に確認しているでしょうか。

○事務局 JR北海道に確認いたしまして、次回情報提供させていただきます。

○委員 例へば鹿が轢かれて列車が止まり、踏切が長時間開かないというようなこともあろうかと思ひますが、そうした時に子どもたちが誰にそのことを伝えればいいのか。アクシデントで踏切の遮断が長時間化した際の対応についても、あらかじめ決めておく必要があるかと思ひます。

○部会長 踏切には交通安全指導員が配置されるということですので、そうしたアクシ

デントの際には、指導員に伝えることになろうかと思います。それに加えて、さきほど委員からもあったように、スタディちゃんの家が存在を周知、指導していくことが必要かと思います。

続きまして、協議事項（２）「踏切への対応について」であります。教育委員会の考え方を含め、事務局で資料を用意しているということですので説明をお願いいたします。

○事務局 （事務局より資料に基づき説明）

○部会長 ただ今事務局より、「踏切への対応」について説明がありました。教育委員会の考え方としては、踏切の横断箇所を限定し、当該箇所に指導員を配置することによって、登下校時における事故発生を防止するというものです。指導員については、４月～１０月は交通安全協会の協力又はセンターへの委託。１１月～３月まではシルバー人材センターへの委託ということですが、あくまでも現時点の案ですので、今後詳細を詰めていくことになろうかと思います。いずれにしても、指導員は責任を持って配置することだと思えます。また、放課後や休日の対策については、学校や家庭での交通安全教育を徹底するという考えが示されております。事務局からの説明に関して、質問やご意見があればお願いいたします。

○委員 登校下校については指導員が踏切についている。過去に鉄南地区で非難訓練をした際に、下り列車が通過して遮断機が上がった後に、すぐ上り列車が来て再度遮断機が下りたことがあって、下り列車通過後に引率している老人が踏切の中に取り残されそうになったことがありました。その際は間一髪で事故にはなりませんでしたが、あらためて踏切の危険性を感じました。登下校時以外に交通安全指導員を配置するのは無理だとは思いますが、踏切の危険性と横断時のルールについては、学校や家庭での教育を徹底してもらいたいと思えます。

○部会長 他にありませんでしょうか。

○委 員 もう一点、列車の通過を待っている時なのですが、線路に近づき過ぎると列車通過時の風圧が強いということがありますので、踏切のバーに近づき過ぎないという指導をしていただきたいと思います。

○委 員 もちろん学校や家庭で子どもたちに踏切の危険性を教育するのは当然なのですが、周辺の町内会の皆さんにも、踏切が通学路になるということを広報や町内会回覧で周知していただきたいと思います。そうしたことも、通行する方の意識としては大事なのかなと思います。

○事 務 局 今いただいたご意見。交通安全教育の徹底について、再度ご意見をいただいたと思いますので、これにつきましては実際の踏切の指導に入るときには踏まえまして徹底していきたいと思います。また、町内会等への周知についてですが、通学路については、次回、教育委員会としての考え方をお示しし、再度議論いただきますので、その結果を踏まえて、令和7年4月の統合前には、町内会回覧や広報などを通じて、通学路設定に関して周知し、車を運転する皆様にも認識していただけるよう努めていきたいと思っています。

○委 員 昨年度の地区別検討委員会において、踏切内の環境整備、車と歩行者の経路を分けるために例えば縁石を置くなどの工夫はしてもらえるのかという質問があったと思うのですが、この点については、登別市や JR 北海道に打診等は行っていただいているのでしょうか。

○事 務 局 仮に鉄南ふれあいセンター付近の踏切と小原製麺所付近の踏切を横断箇所にするということになりましたら、PTA や地域の方とともに、踏切内の状況を確認させていただいて、その結果を踏まえて項目をまとめ、要望を行っていくことになろうと思います。踏切内のことになりますので、JR 北海道との関係で難しい部分もあろうかと思いますが、仮に難しい場合には、その他の対応方法を考えていくことになろうと思っています。

○部会長 JR北海道との関係で難しい部分はあるのかもしれませんが、事務局からもあったとおり、まずはJR北海道への要望はしていただく。また、子どもたちだけではなく、お年寄りをはじめ、地域住民も利用するわけですから、教育委員会だけでなく、我々もともに要望活動を行うといったことが必要かと思えます。

○委員 さきほど委員もおっしゃったとおり、踏切内の環境整備が行われることが望ましいのですが、仮にそれが難しいとしても、鉄南ふれあいセンター付近の踏切は比較的道幅が広いと思います。対して、小原製麺所付近の踏切は道幅が狭くなっておりまして、踏切内の環境整備がなされればよいなどという思いはあります。

○部会長 他にありませんでしょうか？

○委員 もう一点、踏切を横断して直進すると、日鋼記念病院に向かう道と交差しますが、この交差部分は危険性が高く、気をつけなければならないと思います。

○部会長 他にありませんでしょうか。そろそろ本日のまとめに入りたいと思いますが。

○事務局 通学路については、JR幌別駅自由通路は利用せず、鉄南ふれあいセンター付近踏切と小原製麺所付近踏切の2カ所を線路の横断箇所とするとの要望をいただきましたので、これについては、教育委員会で再度検討し、次回あらためて通学路に関する考え方をお示ししたいと思います。また、踏切内の環境整備や通学路上の危険箇所への対応などについてであります、統合までにはまだ時間がありますので、令和7年度までの間に、PTAや地域の皆さんとともに通学路の点検を行い、その結果を踏まえて、各所への要

望事項や地域での取組などを検討していければと思っております。その前段として、この委員会ではまずは通学路の考え方について決定することになりますので、皆さんからの要望事項への対応も含めて、次回あらためて教育委員会の考え方をお示ししたいと思います。

○部会長 次回の内容などについて事務局より説明がありましたが、これに関し委員の皆さんから質問があればお願いします。無いようですので、会議次第4の「その他」について、事務局よりお願いします。

○事務局 回りの日程についてなんですけれども、8月5日の金曜日、時間は本日同様18時から、場所についても本日同様、鉄南ふれあいセンターを予定しております。具体的な内容に関しては、後日、あらためて事務局から連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○部会長 ということで次回はいろいろ盛りだくさんになろうかと思えます。回りの日程について、委員の皆さんから質問などはありませんでしょうか。無いようですので、これで第1回幌別東小学校区検討部会を終了します。皆さん、長時間にわたりありがとうございました。